



# 立川市 新型コロナウイルス感染症にかかる 緊急対応方針（第2弾）

令和2年8月28日



## はじめに

- ▶ 本市では、令和2年5月20日に緊急対応方針を決定し、4つの柱を軸にして新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできておりますが、この間、国や都の補正予算成立とともに、コロナ禍の状態で取り巻く環境の変化や、最近の社会動向に対応するべく、第2弾の緊急対応方針を定め、国の地方創生臨時交付金（第2次分）等を活用し、取り組みを拡充してまいります。



~“オールたちかわ”でこの難局を乗り越えるための緊急対応・第2弾~

## 緊急対応策としての4つの柱

1. **地域医療・地域福祉事業にかかわる取り組み**
2. **地域住民と市民生活にかかわる取り組み**
3. **地域経済と新たな環境づくりにかかわる取り組み**
4. **感染拡大防止にかかわる取り組み**

→これらの支援を着実に実行するために、速やかに補正予算案を提出し取り組んでまいります。



# 1 地域医療・地域福祉事業にかかわる 取り組み

～地域医療や地域福祉を支えるための事業支援～

## ■ PCR検査体制整備

(補正予算案 約4,500万円)

→今後の感染拡大に対応するため、市内にPCR検査センターを設置するなど、PCR検査体制を整えます。

## ■ 立川市介護・障害福祉サービス事業者緊急支援事業給付金

**新規**

(補正予算案 約1億2,200万円)

→市内の介護サービス事業所（約260事業所）・障害福祉サービス事業所（約145事業所）を対象に、サービス提供事業者に対して一律30万円を支給します。

## ■ 市内介護保険事業者への衛生用品等の支援

**新規**

(補正予算案 約50万円)

→市内の介護保険事業所の利用者等に新型コロナウイルス感染症の罹患者が出た際に、衛生用品を迅速に支給します。



## 【主な継続取組】

- ▶ **地域医療体制にかかる支援**・・・医療機関への支援として、衛生資材や医療機器等の購入にかかる費用、新型コロナウイルス感染症対応のための体制確保や医療従事者の宿泊等にかかる費用の一部を助成します。
- ▶ **ふるさと納税「新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者応援プロジェクト」による寄附受付**・・・ふるさと納税のスキームによる寄附を受け付け、基金に積み立て、地域医療にかかわる支援の事業などに充当します。

## 2 地域住民と市民生活にかかわる取り組み



～地域にお住まいの皆さんとその生活の支援～

### ■ 新生児臨時特別定額給付金(仮称) **新規** (補正予算額調整中)

→国の定額給付金基準日以降、令和3年4月1日までに生まれたお子さんに対して、1人5万円の独自給付を行います。

### ■ ファーストバースデー育児パッケージ事業(都制度) **新規** (補正予算案 約1,500万円)

→東京都の補助金を活用して、1歳前後の育児状況を把握できた保護者を対象に育児パッケージを配布します(対象者約1,350人)。

### ■ 多胎児家庭支援事業(都制度) **新規** (補正予算案 約120万円)

→東京都の補助金を活用して、3歳未満の多胎育児中の約50世帯を対象に1世帯につき24,000円を上限に健診や予防接種の際のタクシー利用料金を助成します。



## 【主な継続取組】

- ▶ 立川市市民生活支援給付金（市制度）…市民への生活支援・お見舞金として市民1人1万円を支給
- ▶ ひとり親世帯臨時特別給付金（国制度）…ひとり親世帯に対して、1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円の臨時特別給付金を支給
- ▶ ひとり親家庭生活必需品支援（都制度）…ひとり親家庭の生活の安定を図るため、食料品等の生活必需品を提供
- ▶ ひとり親世帯等臨時給付金（市制度）…児童育成手当や育成障害手当受給世帯の対象児童1人につき3万円を支給
- ▶ 単身高齢者訪問・熱中症予防緊急対策事業…高齢者一人暮らし調査対象者にクールネックを配布しながら訪問
- ▶ 水道料金・下水道使用料の支払猶予期間の延長…支払猶予期間について申し出をした日から最長1年間に延長





### 3 地域経済と新たな環境づくりにかかわる取り組み

～地域経済と新たな生活様式の構築に向けた支援～

- 中小事業者事業継続・固定資産にかかる緊急支援事業 **新規**  
(補正予算案 約2億5,300万円)

→自己所有の建物や土地で事業を営んでいる中小事業者については、他の制度の対象外のため、売上高が著しく減少している中小事業者（約1,000事業者を見込む）を対象に自己所有の事業所等に係る固定資産税相当額の一部を独自に支援します。

- 地域経済活性化キャンペーン事業 **新規** (補正予算案 約2億4,500万円)

→キャッシュレス決済サービス事業者と提携を結び、立川市内約1,300の対象店舗での買い物や飲食等を促進するキャンペーンを行います。

- 商店街(会)への支援事業 **新規** (補正予算案 約800万円)

→新型コロナウイルス感染症の拡大防止のポスター作成・配布を行うとともに、市内の36商店街(会)に対して、感染拡大防止のための衛生用品などの消耗品等を商店街(会)の規模に応じて上限50万円として補助します。





## ■ 安定的な種苗等確保支援策の検討 **新規** (補正予算案 100万円)

→時期作以降の種苗の入手に不安を抱えている農業者に対して、安定的に種苗を確保できるようJA等と連携して対応できるよう準備していきます。

## ■ GIGAスクール構想の計画前倒し (補正予算案 約4,100万円)

→国のGIGAスクール構想に基づく、小中学校における1人1台のパソコン整備については、本年11月までに児童・生徒の2/3、残りの1/3を令和3年度に整備することとしていましたが、計画を前倒しし、今年度中に全員への配布を目指します。(4号補正額と今回の補正額の債務負担を合わせた5年間の総事業費 11億6,500万円)

## ■ 電子図書館サービスの導入 **新規** (補正予算案 約1,100万円)

→新型コロナウイルス感染症に関連した新たな取り組みとして、図書館に来館することなく読書ができるよう電子図書館サービスの導入を行います。

### 【主な継続取組】

- ▲ 雇用調整助成金等の相談支援…立川商工会議所、社労士会等と連携
- ▲ 学校給食関係業者への支援…学校給食関連業者に対する協議・支援



## 4 感染拡大防止にかかわる取り組み

～引き続き感染拡大防止に努めてまいります～

- 市民会館、アイムホールにおけるWi-Fi環境等の整備 **新規** (補正予算案 約640万円)

→市民会館やアイムホールにおいて実施される事業を映像配信するためにWi-Fiなどのインターネット環境を整備します。

- 市民会館の大・小ホール会場使用料の減額 **新規**

→市民会館大・小ホールにおいて感染症拡大防止に配慮して公演等を行う団体を支援するため、会場使用料を減額します。

- 緊急対応等のための業務用パソコンの購入 **新規** (補正予算案 約2,000万円)

→今後、感染拡大が進んだ場合の緊急対応等による安定的な行政運営を行うために、市の業務用パソコンを購入します。



## ■ キャッシュレスによる納税の仕組みづくりの検討 **新規**

→感染予防の観点からキャッシュレス事業者と提携し、オンライン上で納税を行う仕組みづくりに向けて準備検討します。

## ■ 修学旅行等を中止とした場合のキャンセル料の全額公費負担 **新規**

(補正予算案 約1,850万円)

→修学旅行やスキー教室などの学校宿泊行事が中止となった場合につきまして、キャンセル料を全額公費負担とします。

## ■ 学校における感染症対策・学習保障等に係る支援事業 **新規**

(補正予算案 約8,500万円)

→文部科学省の補助金を活用して、学校長判断で、迅速に、学校における感染症対策や学習保障等に必要な物品等を購入できるようにします。

## ■ 家庭ごみ指定収集袋減免分の配送 **新規**

(補正予算案 約360万円)

→家庭ごみ指定収集袋の減免分の袋について感染予防の観点から、これまでの手渡しから今回配送によって交付します。



## 【主な継続取組】

- ▶ 乳児・産婦健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査における個別検診での対応…集団検診で密にならないよう個別検診に変更
- ▶ 避難所における感染症対策の強化…フェイスシールドや非接触型電子検温計などの物資を配備
- ▶ 小中学校、屋外体育施設等のレバー水栓交換…小中学校や屋外体育施設等の水栓をハンドル式からレバー式に変更
- ▶ 感染予防用物品購入…各部署において感染予防に努めるための物品の購入

\* 今後、状況変化により内容を変更する場合があります